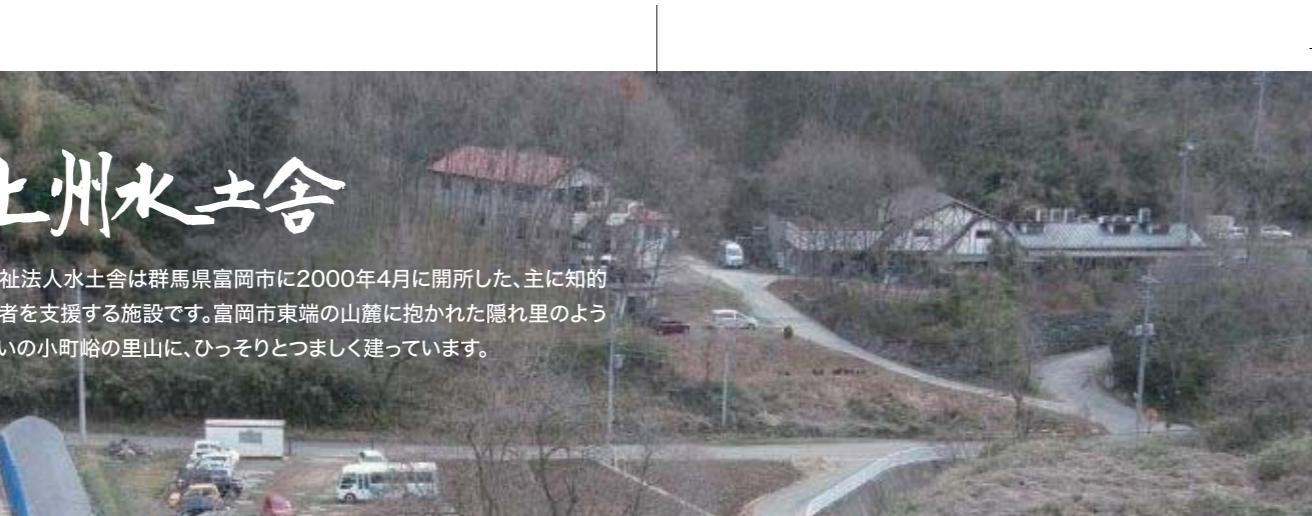


上州水土舎

社会福祉法人

障がい者支援事業所概要



上州水土舎

社会福祉法人水土舎は群馬県富岡市に2000年4月に開所した、主に知的障がい者を支援する施設です。富岡市東端の山麓に抱かれた隠れ里のような佇まいの小町哈の里山に、ひっそりとましく建っています。

水土舎憲法前文

水土舎は生涯サポート体制の確立を図ると同時に、将来的には施設を地域社会に統合させ、施設という特別区を解体することを目指します。

水土舎憲法全文

第一条 他人にも自分にも、迷惑をかけない

第二条 許される範囲なら他人にも自分にも迷惑をかけていい

水土舎

(社福)上州水土舎の各施設では、**障がいを持つ人たちを地域社会へ解放し**、最終的には**施設を解体して地域社会の中へ統合させ**、**地域社会と共に共生し**、**障がいという概念を無化**し、障がいを地域社会の中の一人一人の個性や特徴と同じだと位置付ける試みを行っていきます。施設をゲッターにも逆に聖域にもするつもりはありません。

水土舎は**あなたの『生きにくさ』や『迷惑』をお引き受けします**。それを懸命に支援するのが水土舎の仕事だと思っています。

移動支援事業所

通所多機能型事業所 水土舎

グループホーム（総定員 62 名）

富岡甘楽自立支援センター こすもす

・GH 稲舎
・GH ワラビー
・GH 赤城館
・GH マンダラ
・GH 白岩荘
・GH 第二白岩荘
・GH 岡本荘
・GH 第二岡本荘
・GH 第三岡本荘
・GH 亀泉（前橋）

社会福祉法人 上州水土舎

通所生活介護事業所 ムゲン

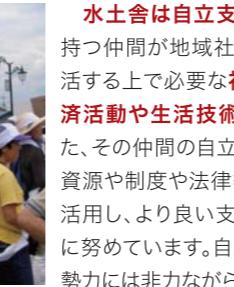
富岡甘楽自立生活サポートセンター

多機能型事業所 よろず屋寒春

水土舎 前橋事業所

相談支援事業所

通所多機能型就労支援事業所 水土舎（B型&就労移行）



水土舎、人間宣言デモ



赤八汐



ブルーベリー園造園開始(2000年春)



授産製品・ハム ソーセージ



塩釜焼きローストビーフ



授産製品・養鶏

- 沿革
- 1999年7月 社会福祉法人上州水土舎設立
 - 2000年4月 知的障がい者通所授産施設としてセルプ水土舎開所
 - 2002年11月 GH 稲舎開始
 - 2004年2月 GH ワラビー開始
 - 2006年3月 GH 赤城館（地域ホームからグループホームに）
 - 2006年10月 複数のホーム全体が一つの事業体となり、富岡甘楽自立支援センター・ムゲンとなる。
 - 2007年7月 生活介護施設として富岡甘楽自立生活サポートセンター・ムゲン開始
 - 2009年4月 GH マンダラ開始
 - 2010年4月 通所授産施設セルプ水土舎は多機能型（就労移行・就労継続B）施設水土舎に移行。
 - 水土舎の分譲として赤城高原ミート（水土舎前橋作業所）開始
 - 2011年4月 GH 白岩荘開始
移動支援事業開始
 - 2012年4月 GH 第二白岩荘開始
赤城高原ミートが施設化し、よろず屋寒春（就労移行・就労継続B型の多機能型）となる。
 - 精神障がい者地域移行支援事業開始（1年間限定）
 - 2013年4月 GH 岡本荘、GH 第二岡本荘開始 GH 白岩荘を増築し定員も8名へ変更
水土舎、よろず屋寒春の定員変更
(水土舎就労継続B型を32名に、よろず屋寒春就労継続B型を16名に)
相談支援事業所もんじゅ（一般、特定、障がい児）認可
 - 2014年4月 GH 第三岡本荘開始（定員7名）
よろず屋寒春の定員変更（就労継続B型を21名に）
 - 2018年5月 GH 亀泉開始（定員7名）
前橋で最初の水土舎建てグループホーム。

概要

法人名／社会福祉法人 **上州水土舎**

所在地／〒370-2304 群馬県富岡市後賀723-7

TEL:0274-64-1254(代)

FAX:0274-89-1055

akagi-ya@xp.wind.jp

<https://suidosha.jp>

設立／1999年7月22日

従業員数／60人（2019年4月1日現在）

事業内容／就労移行、就労継続B型、生活介護、

共同生活援助・共同生活介護、相談支援

（一般、特定、障がい児）、移動支援

※上州水土舎の題字は美術家 横尾忠則氏

